

令和元年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	旧第二学校給食センター他建物解体事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	2	1	7	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	契約管財課			
施策	412効率的で健全な行財政運営の推進	担当課室長	弓削 孝司			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	周辺住民への影響を最小限に抑え、工事を完了させる。	③令和元年度に取り組む改革・改善内容	解体工事及び排水整備工事完了後の家屋事後調査について、意向調査を行い進める。
②①に基づく取り組み結果	苦情を最小限に抑え、工事を完了することが出来た。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	旧第二学校給食センター他	意図(対象をどうするのか)	既存施設の解体を行う。
②事務事業の概要	旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンターの跡地について、浸水対策として、排水路を整備する為、建物を解体する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市街地で周辺住宅が近接していることから、振動、騒音、粉じんなどの影響を最小限に抑え工事を行う必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成30年度の事業の成果	周辺住民へ騒音や振動などを配慮しながら工事を完了させた。						
②成果を表す指標	指標名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	算定根拠	
	i	改修割合	0	31	92	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成29年度決算	平成30年度決算	平成30年度決算(事業費)の主な内訳		令和元年度予算		
事業費(千円)	53,642	109,507	金額(千円)	内容	13,455		
国支出金(千円)			102,221	旧第二学校給食センター他建物解体工事			
県支出金(千円)			6,731	旧第二学校給食センター他建物解体附帯工事			
市債その他(千円)	48,200	98,200			12,100		
一般財源(千円)	5,442	11,307			1,355		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設が近隣住宅に隣接しているため、慎重に工事を行う。また、アスベストの除去作業に時間を要したが、速やかに工事を完了させ、周辺住民の不安を取り除く。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	解体後の事後調査が適正に進捗しているか確認するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成30年度の計画	解体工事を実施する。	平成30年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	解体工事を完了することが出来た。	0	110,645	当初	0	H29からの繰越	110,645
				H29⇒30繰越	110,645		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	0
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		令和元年度への繰越額(単位:千円)		0			